

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第1回川島町行政改革推進委員会
開 催 日 時		平成25年5月16日（木）
開 催 場 所		川島町役場 第2庁舎第1会議室
議 題		(1) 第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画について 平成24年度の実績評価と今後の方向性について (2) 次回会議日程について
公開・非公開の別		公 開（傍聴者1名） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	榎本委員、河邊委員、平委員、高倉委員、遠山委員、西村委員 広瀬委員、山口委員、吉倉委員
	事務局職員	政策推進課 石島課長、藤間主幹、中尾主査、藤井主事
配 布 資 料		資料1-1、1-2、1-3
審議会等の内容・概要		
<p>1. 開 会</p> <p>（事務局より会議の開会にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議録も公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。）</p> <p>2. 委嘱状の交付</p> <p>3. 町長あいさつ</p> <p>4. 会長選出</p> <p>委員の互選により、聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授 平 修久氏が会長に選任され、平会長が職務代理者に明治大学政治経済学部専任講師 西村 弥氏を指名した。</p> <p>5. 会長あいさつ</p> <p>6. 諮 問</p>		

7. 議 事

(1) 第3次川島町行政改革大綱 第3期行動計画について

平成24年度の実績評価と今後の方向性について

(事務局より本委員会のスケジュールについて確認をした後、資料1-1「第3次川島町行政改革大綱 第3期行動計画及び進行管理表」及び資料1-2「第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画進行管理の概要」を用いて説明)

会 長：事務局から説明があったが、項目ごとに委員の方々のご意見、質問等を伺いたい。

・評価項目1 事業評価の実施（目標値の導入）

委 員：平成26年度の成果指標・計画の部分にも平成25年度同様に、「事業の目標値に対する、達成率の評価の実施」を記載した方がいいと思う。

会 長：人事考課の組織目標とあるが、わかりにくく感じる。

事務局：人材育成の観点から人事考課を行っており、その中で各課が組織目標という主要な事業をいくつか設定している。その主要事業を、いつまでにどのように進めていくか定めた目標シートを作成し、その成果を評価している。実施計画で事業評価するよりも、人事考課での組織目標の方が明確でわかりやすいことからこちらを活用することにした。

会 長：委員会としても評価はAとする。

・評価項目2 環境負荷の低減

委 員：平成25年度の成果指標・計画で、申請件数を600件から900件に上方修正しているが、平成26年度は当初計画の900件のままにしている理由はなにか。

事務局：小型合併処理浄化槽については、全約2,700基を3年間のサイクルで維持管理ができるように設定した。

委 員：資料1-2では計画の変更なしと記載があるので直したほうがよい。

事務局：主な変更部分のみの記載としていたので修正する。

会 長：評価はAとする。

・評価項目3 行政の組織・機構の見直しと定員管理の適正化

委 員：事務局からの説明による計算式では評価がCとなることはわかるが、昨年の答申でも、基本となる定員管理計画の早期策定を望むと言っていたのに、根

幹となるそれができなかったのにもかかわらずCというのは違和感を覚える。

事務局：策定が遅れた原因の一つに幼稚園のあり方、方向性が決まったのが秋頃だったこともあり、案の策定までに留まってしまった。

会長：実績の欄に、「定員管理計画（案）の作成を行ったが、実施までには至らなかった」とあるが、平成25年度には「計画の策定・実行」と記載があつてわかりにくい。平成24年度の実績は、（案）の作成を行った、以後は削除する。評価について他に意見はあるか。

委員：評価は合理的ではないとなかなか難しいので、計算式によるものでいいと思う。しかし、課を増やすことで機能的になったという考え方は民間の考えでは逆だと思う。また、今後の方向性の欄には、新庁舎という言葉が急に出てきているが、新庁舎と組織・機構や定員管理がどう変わるのかよくわからない。

事務局：課の統合により、課が大きくなった結果、窓口サービスに支障をきたす場合もあったので、ヒアリングなどを踏まえて見直しを行った。新庁舎には、現在の分散した窓口を集約したサービス向上のための配置や職員数による面積要件なども関わってくる。

会長：組織、定員、新庁舎など、いろいろなものが絡み合っている。

委員：大きくすることが必ずしもいいことだとも思っていないが、今の資料の表現では見えにくい。

会長：課を増設したからといって職員数を増やしたわけではないようなので、維持したという記載も必要だと思う。

事務局：文言の表現などについては、次回までに整理させていただく。

会長：評価については、Cとするが、表現の修正をお願いします。

・評価項目4 審議会等附属機関の見直し

委員：実績は、基本指針の策定はしたが決定までには至らなかった、という考えでいいのか。

事務局：そのとおり。

会長：評価はBとする。

・評価項目5 幼稚園・保育園運営の見直し

会 長：(特段意見なし) 評価はAとする。

・評価項目6 人事管理制度の充実

委 員：これまでの評価算定方法で評価するならば、この項目はCではなくDでいいと思う。

会 長：整備、策定といった同じような意味で使っている言葉があるので統一してもらいたい。D判定が妥当との意見があったが、D判定としていいか。(委員の同意を得る) D判定とする。

・評価項目7 職員の能力向上・意識改革

委 員：OJT研修は今や普通に行っていることではないか。OJTのやり方を研修するという意味か。

事務局：OJTは現在も行っているが、強化したいという面がある。また、職員が講師となるような研修も含めている。わかりやすい表現へと修正する。

会 長：平成25年度に研修基本計画の策定とあって、現在は職員研修計画に基づいて、とあるがどういったことなのか。

事務局：職員研修計画は年度ごとの計画で、研修基本計画は人材育成基本方針に位置付けられている研修部分の基本指針、方針となる計画である。

委 員：研修計画、基本計画という表現ではわかりにくい、改めた方がいい。読んだ人がわかりやすい文言にしてもらいたい。

委 員：対象者参加率による評価としているが、研修が何回あって何回参加できたのかといったものがわかるほうがいいと思う。

会 長：書き込むことができるか検討してもらいたい。評価については、Aとする。

・評価項目8 職員提案制度の活用

委 員：提案のうち、実施・改善に結びつけたものはあるのか。

事務局：組織改正により解決できた提案もあるが、今のところ検討中である。新庁舎建設に伴う職員提案については、とりまとめ、今後反映させていく予定となっている。

委 員：提案者へのフィードバックがしっかりあればモチベーションも上がると思う。

事務局：現在は提案者のみへの結果の回答となっている。今後は全庁で共有できるような方法を考えている。

会 長：181人の職員で400件の提案をどう評価するか。

委 員：テーマが提案しやすかったという点があると思う。

会 長：テーマを設定して実施するという平成25年度の計画を前倒しでできた。評価はCとする。

・評価項目9 町税等の収納率向上

委 員：コンビニ収納は、1件あたりいくら手数料がかかるのか。

事務局：1件あたり57円と月額の通信料がかかる。引き続き口座振込による納付を進めていきたい。また、進行管理表の記載で、平成24年度の成果指標・計画の欄も同様に、町税の内訳を町県、法人、固定、軽自と修正する。

・評価項目10 補助金負担金等の見直し

会 長：成果指標・計画の欄に、交付決定時に確認とあるが、何を確認するのかわからないので、妥当性を確認するといった文言を加えたほうがよい。評価はAとする。

・評価項目11 公共施設の外部委託（給食センター）

委 員：実績に、一部を外部委託してA評価とあるが、残りは来年度以降とするならばA評価ではないと思う。

事務局：臨時職員としていたところを全て外部委託し、残りの調理員4人は正職員となっているので、一部外部委託という表現になっている。

委 員：最初から臨時職員の外部委託を計画としていたならば、一部という文言はわかりにくいので一部を取ってAとしたほうがよいと思う。

会 長：文言を整理してもらい、評価はAとする。

・評価項目12 町民・企業と連携した公共サービスの充実（図書館）

委 員：成果指標・計画には、調査・研究結果の報告とあるのに、その実績が設置要綱を作成したでは、この項目はAではなくDくらいだと思う。全体の評価も変わってくる。

会 長：町民・企業との連携方法をさまざまな調査、検討した結果、図書館をやろうとなり、「図書館のあり方研究会」を設置する運びとなったのかと思ったが。

事務局：昨年度から職員による検討を進め、アンケート調査をするなど報告としてまとめたところで、図書館のあり方研究会を設置することとなった。

会 長：唐突な表現となっている感じもあるので、読み取れるように修正してもらい

たい。評価は保留とする。

委員：平成 25 年度の成果指標・計画の欄に利用者満足度の向上とあるが、他の項目と同様に数値が入るならあったほうがわかりやすい。

会長：時間も迫ってきたので、残りの評価項目は次回の会議で協議する。


(2) 次回会議日程について

事務局：6月6日（木）午後はいかがか。

会長：事務局から案があったが、午後2時からでよいか。（委員了解）

事務局：会場は確認して、別途連絡する。

8. 閉 会

署 名	榎本 久美子 
	高倉 富美子 